

「ロング昼休み」はじめました

子どもたちの外遊び時間は、この35年間で約2時間から約1時間へと半減したと言われています。また、友達と自由に遊ぶ機会も減少しています。

しかし、遊びは体力だけでなく、協調性や挑戦する力、粘り強さなどの非認知能力を育む大切な学びの場です。子どもたちが夢中になって遊べる時間を、学校・家庭・地域で大切にしていきたいものです。

本校では、昨年度運動場の放課後開放を始めました。そして、今年度は、2週に一度、30分間の「ロング昼休み」を行っています。30分間の使い方は子どもたちが個々で決めます。運動場で遊ぶ子、室内で過ごす子、図書館で本を読む子など、思い思いに過ごします。この時間は、子どもたちの時間、心の充電をする時間です。

